

## はじめに

都市は実際に私たちの目の前に存在し、どういうものか明確ではないにしろ、ある程度実感できますが、古代の都市となるとそうはいきません。現代と比べ、はるかに分からないのです。この解明は古代オリエント研究の重要な課題の1つとなっています。このセミナーでは実際に調査されている4名の方を講師に迎え、発掘成果を基にそれぞれの遺跡の都市的性格を紹介していただきます。これを機会に、古代オリエントの都市に夢を馳せていただければ幸甚に存じます。

主催者

日時：2009年4月11日（土）13:00～16:00

会場：天理参考館研修室

### プログラム

司会：巽 善信（天理参考館学芸員）

13:00 開会挨拶

13:10～13:50 山内 紀嗣（天理参考館学芸員）「オリーブ油の町 テル・レヘシュ遺跡」

13:50～14:30 長谷川 奏（早稲田大学総合研究機構准教授）「古代エジプトの都市をめぐる伝統と革新—メンフィスとアレクサンドリア—」

14:30～14:40 休憩

14:40～15:20 芳賀 満（京都造形芸術大学教授）「中央アジアのギリシア系都市を掘る—ウズベキスタン共和国カンピール・テパー」

15:20～16:00 西藤 清秀（奈良県立橿原考古学研究所埋蔵文化財部長）「シリア・パルミラ遺跡の墓を掘る」

16:00 閉会

表紙写真：テル・レヘシュ遺跡 イスラエル